



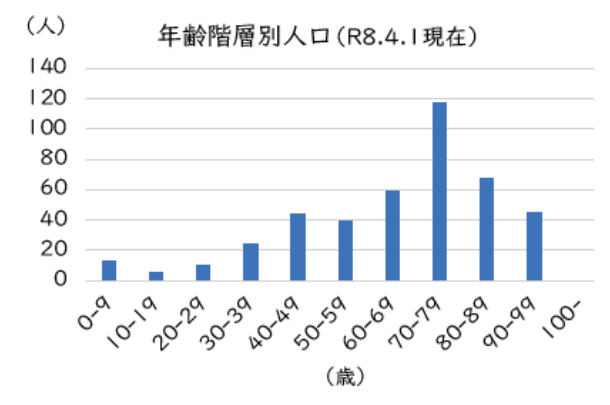
阿川を元気にする合いことば 「ガンバレ 阿川」

【地区の状況・地域活動者数（一部抜粋）】 R 8.4.1 時点

■人 口	429人	■世帯数	249世帯
■高齢化率	63.4%	■部落数	20 地区
■1人暮らし高齢者数	101名	■民生委員・児童委員	4 名
■老人クラブ会員数	44名	■高齢者サロン	3箇所
■教育関係	2箇所		
■防災関係	消防団阿川分団 5 部 自主防災組織 3地区 避難場所 3箇所		
■主な団体	阿川地区チャレンジ神山推進協議会、阿川地区民生児童委員協議会 阿川長寿会、阿川芸能獅子舞保存会、阿川ボランティア会 名西交通安全協会阿川分会、神山町消防団阿川分団 更生保護女性会阿川支部、神山町消費者協会阿川支部 JA 徳島県女性部阿川支部、地域の安全を守る会 ほか		

阿川地区地域福祉活動計画

鮎喰川の北岸に位置し、古くから梅の生産が盛んな地域。地域おこしにと約 30 年前から梅まつりを開催し伝統芸能の獅子舞や傘踊りを披露していた。近年は少子高齢化により規模を縮小しながら実施。また、地域の活性化になればと 28 歩の会が熱心に案山子を制作し地区のあちこちに展示している。



地域の強みを活かして 5 年後・10 年後に向けた取り組みの第 1 歩

地域住民から見た地域の状況	
地域の強み	【団結・元気な人が多い】 ・心が温かく人柄が良い ・近所の仲が良い ・団結力がある 【郷土芸能・伝統を受け継ぐ】 ・獅子舞が復活し、継続している（40 代の参加） ・傘踊りに復活の兆しがある 【集まれる場所・公民館】 ・集まる場所、活動する場所がある（唯一無二の公民館） ・公民館を中心に動いており、まとまりやすい ・梅まつりがあり、楽しい
地域の弱み	【行事衰退】 ・後継者がいない ・地神祭や相撲がなくなった 【人】 ・地区によって、つながりが強かったり弱かったり ・近所の人が何をしているのかわからない ・若い人（移住者）との繋がりをつくるのが下手
地域の生活課題	【人口減少】 ・集まれる場所がなくなる ・話し相手がいなくなる 【生活】 ・みんなで助け合って生活できるかな 【移動・交通手段】 ・車に乗れなくなった後の生活が心配 ・ゴミ収集場所が遠く、ゴミ出しに困る



タイトル	目 標	なにを・どうする
伝統継承	・各種祭りを継続していくための取り組み ・伝統芸能の継承のために映像保管をする ・獅子舞、傘踊りを復活させ、地区の祭りの継続に繋げる	・だんじり太鼓ややっこ踊りを映像保管、言葉等は資料に残す（映像を持っている人を阿川だよりなどで募集する） ・地区単位をやめて阿川全体でお祭りをする（氏子以外の人も関わられるようにする） ・今できているDVD（傘踊り等）を色々な場所で流し、若い人を取り込む
集まりの場	・公民館を中心に活動している	・カラオケやサロン、囲碁ボールなど今の活動を継続し、近所の人などに声をかけて広げる ・阿川小学校の校舎の活用（かかし以外の人にも使って欲しい） ・公民館の職員を助けられる人を募集する ・いも入りよもぎ団子、かしわもちなど伝統料理をいろいろな世代へ伝えていく ・公民館に喫茶室をつくる
交流	・行事を通じて移住者や若い世代との交流を深め、繋がりをつくる	・移住者や若い人に対し、せまい地域（在所や近所）から声かけをして参加をしてもらう ・集落支援員だよりで移住者の紹介をする ・SNS や防災無線で準備段階から周知をする ・イベント時に名札をつけ、名前がわかるようにする
たすけあい	・年齢を重ねてもみんなで助けあい、安心した生活が送れるよう公民館に『よろず屋』をつくる（公民館に情報を集め、住民同士で助け合う仕組みづくり）	・公民館に事務局をおき、登録制（だれが、何をできるか）のよろず屋をつくる ・有償ボランティアで活動をしてもらう ・集落支援員の増員や役場に助成金をお願いする ・傾聴ボランティア（小地域）の活動をする